

発行所

山武郡横芝町横芝636番地

横芝町役場

電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-17



横芝

広報

横芝町の人口と世帯

〈3月1日現在〉

人口 12,849 (+1)

男 6,228 (+2)

女 6,621 (-1)

世帯数 3,149 (-2)

()内は前月比



福祉横芝の実現目ざす 新年度予算・総額で 十三億八千二百万円

昭和四十九年度横芝町一般会計および特別会計予算は、三月十一日から開かれた定例議会(会期十日)に上程され原案どおり可決されました。

会計別予算(単位千円)
一般会計 一、一四五、二〇〇
国保会計 二〇六、九九五
有線会計 二二、九二八
国民保養センター会計七、〇一四

なお、この議会で伊東町長は、次のような新年度予算の編成方針を述べております。

「私は、かねてから、福祉の増進・教育の振興・産業の開発を、〈施政の根本方針〉とする」と、公表して参りました。更に要約すれば、福祉横芝の実現を目ざして諸施策を講ずることが、私の変らぬ政治姿勢であります。

さて、この理想に向って前進するためには、具体的施策と予算の裏付けを必要とする事は申すまでもありません。先ず具体的施策をたて、これに必要なだけの予算を裏付けて行くことができれば理想であります。遺憾ながら現実には、先づ財源を考え、その許す範囲内で、諸施策を樹立して行くという方式を採らざるを得ないのであります。したがって、かかげたスローガン実現のための実施計画は、まことに徹々たるものとなってしまうことはやむを得ない現実であると、ご了承いただきたいのであります。

こうした現実下で、物価高騰や政府の総需用抑制政策等の社会状況の制約をうけながら編成したのが、四十九年度の予算案であります。予算規模は約十一億七千万円でありますが、そのうち自主財源によるものが約三億二千万円で、二七割、一億九千万円の起債を含めた依存財源によるものが約八億五千万円で七二・四割、いわゆる三割自治といわれる町村財政の弱さを示しております。

この予算案に見られるように、自主財源はまことに底が浅く、これ以上の大巾な伸びを期待することは、現状では不可能であります。そこで、国や県の補助金、支出金を大巾に引き出して、依存財源を大きくすることが、当面の苦心で

あり努力でありました。この予算案をご審議願うことによつて、福祉増進・教育振興・産業開発のための四十九年度の施策を、ご了承願いたいと思ひます。

これらの施策の中で、ごく主要な事業と新規の事業についてだけ申し上げて見たいと思ひます。

- 横芝小学校防音講堂新築、横芝小学校々舎増築、大総保育所防音改築、上界地区共同利用館新築等に約四億円を計上いたしました。
- 町道舗装、排水施設、公共用地取得等に約一億二千万円を計上いたしました。

横芝町農業振興会の設立を促して三百万円の補助をいたしました。

○敬老祝金条例、交通遺児に手当を支給する条例、五十年年金保険料貸付条例等を制定して福祉行政の拡充をはかり一五〇万円の予算を計上いたしました。

次に上水道建設の問題であります。四十九年度に約八〇〇万円の負担を始めとして、五十四年度までの六年間に合計一億四千万円を支払うことになっております。

これは、今後の町財政にかなりの圧迫を加えることにはなりません。時代の推移と将来の公衆衛生を考慮し、町民の福祉を思う時、はからずも建設の機会に遭遇した我々の時代に、後代に対する義務としても、万難を排して遂行すべきであると考えております。